



中利伍詰株式会社
霧島工場
工場長
福元 敬吾



昭南ハイテックス
株式会社
総務部
大渡 洋平

今を大切に！

珠玉の一言

昭南ハイテックス株式会社の大渡洋平さん。大渡さんは、この会社で総務部に所属している。この会社の仕事内容は、電子部品の製造、検査、加工をすることだ。その中でも総務部に所属する大渡さんは業者への工事発注や従業員の採用活動、パソコン機器の保守など会社が円滑に動くための、いわゆる社内の「何でも屋」のような仕事をしている。

この仕事をしていて番のやりがい、問題を解決したときの達成感だと話してくださった。そして、仲間を助けたときにお礼を言っても

らえることも仕事を続けるモチベーションになるとおっしゃった。お互い助け合いながら仕事ができる環境がある。また、昭南ハイテックス株式会社では、海外出身の方も働いており、社内でのコミュニケーションは非常に大切だとおっしゃられた。

この仕事で大渡さんは「最初はミスが多かったが、そのミスのおかげでここまで成長できた。」また、「できなかった仕事ができるようになるなど、自分のスキルが上達することがわかると楽しい」と話してくれました。

聞く耳を持つ

珠玉の一言

えびの市上江に製造所を構える中利伍詰株式会社。本社から依頼を受け、主に栗や桃、柚子などを加工し製造する。それを配達会社に委託し、各お菓子屋さんやお客様たちの手に届けてもらう。

ここで工場長として働く福元さんが、この仕事をしていてよかったなと思う瞬間は、お客様からもう一度食べたいという言葉やお手紙を頂いた時だと話す。また、お菓子屋さんの作ったケーキやまんじゅうの中に栗や桃が入っていると嬉しくなるそうだ。特に会社で気を付けていることは、みんなの声を聞く

ことだそう。みんなの主張を聞くことで、良くないところを改善し、良いところをもっと伸ばすことでより良い会社づくりができる。今年で創業99年、中利伍詰株式会社も少子高齢化の影響を受けており、会社で働いている人でもうまく回るのかを考えたが、機械を導入したり、若い世代の人たちへ技術伝承したりすることがこれからの課題だそう。私達自身もこの会社取材させてもらって工場長をはじめとした、社員の皆様の温かみを肌で感じた。

会社概要



本社は京都府。昭和39年に霧島工場が建設され、現在は主工場として稼働しています。えびの市の特産品である栗を中心に、農産物の甘露煮佐詰・ペーストといった菓子原料や、わらび餅・ぜんざいなどの和菓子を製造しています。

代表者／代表取締役 中川 貴由
設立／昭和36年2月16日
資本金／1,000万円
本社所在地／京都府八幡市八幡神原109番地12
工場所在地／えびの市大字上江796番地3
従業員／48名(うち市内出身者29名)
HP／<https://nakari.co.jp>



TEL.0984-33-0038

会社概要



昭和58年4月に有限会社昭南電子工業を設立。その後、平成17年2月に昭南ハイテックス株式会社に社名変更。大手セラミックメーカーを主要取引先としています。

代表者／代表取締役会長兼社長 原 裕一
設立／昭和58年4月
資本金／605万円
本社所在地／えびの市大字岡松445-2
事業所／本社工場、人吉工場、加久藤工場
従業員／379名
HP／<http://www.shonan-ht.co.jp>



TEL.0984-37-2159 FAX.0984-37-2556